



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
 コード番号 8377 URL <https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 庵 栄伸
 問合せ先責任者 (役職名) 企画グループ長 (氏名) 南川 茂一 TEL 076-423-7331
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日 特定取引勘定設置の有無 有
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	175,963	3.5	32,224	1.7	21,334	5.3
2020年3月期	182,402	0.7	31,685	10.3	20,252	16.9

(注) 包括利益 2021年3月期 55,148百万円 (%) 2020年3月期 20,046百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	経常収益経常利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	152.17	151.68	3.5	0.2	18.3
2020年3月期	142.74	142.37	3.4	0.2	17.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 12百万円 2020年3月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	16,635,471	638,504	3.8	4,504.91
2020年3月期	13,644,861	595,319	4.3	4,138.44

(参考) 自己資本 2021年3月期 634,702百万円 2020年3月期 591,881百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,608,220	231,376	12,073	5,086,143
2020年3月期	213,741	32,838	12,761	2,721,353

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		40.00	40.00	5,247	28.0	0.9
2021年3月期		0.00		35.00	35.00	4,592	23.0	0.8
2022年3月期(予想)		0.00		35.00	35.00		26.6	

(注) 上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	22.9	8,500	34.7	59.87
通期	30,500	5.2	18,500	13.3	131.79

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	132,163,014 株	2020年3月期	132,163,014 株
期末自己株式数	2021年3月期	953,838 株	2020年3月期	999,658 株
期中平均株式数	2021年3月期	131,200,885 株	2020年3月期	131,153,559 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,799	461.1	7,279	750.7	7,233	796.6	7,230	799.1
2020年3月期	1,389	84.1	855	89.5	806	90.1	804	90.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	44.66	44.52
2020年3月期	5.54	

(注)2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	223,534	223,368	99.7	1,365.70
2020年3月期	228,253	228,100	99.7	1,361.01

(参考) 自己資本 2021年3月期 222,829百万円 2020年3月期 227,603百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

○第1回第5種優先株式

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7 50	—	7 50	15 00
2021年3月期	—	7 50	—	7 50	15 00
2022年3月期 (予想)	—	7 50	—	7 50	15 00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14
株式会社北陸銀行の個別業績の概要	14
株式会社北海道銀行の個別業績の概要	22
2020年度決算説明資料	30
I. 2020年度決算ハイライト	31
1. 損益の状況	31
2. 主要勘定	35
3. 有価証券の状況	37
4. 金融再生法開示債権	38
5. 自己資本比率	39
6. 業績予想	39
II. 2020年度決算の概況	40
1. 損益状況	40
2. 資金運用調達勘定(平残)	43
3. 利回り・利鞘	43
4. 業務純益	44
5. ROE・OHR・ROA	44
6. 営業経費・人員の推移・店舗数の推移	45
7. 有価証券関係損益	46
8. 有価証券の評価損益	47
9. 自己資本比率	48
III. 貸出金等の状況	49
1. 金融再生法開示債権	49
2. 金融再生法開示債権の保全状況	50
3. リスク管理債権の状況	53
4. 貸倒引当金の状況	54
5. リスク管理債権に対する引当率	54
6. 預金・貸出金の残高	55
7. 中小企業等貸出残高・比率	55
8. 個人ローン残高	55
9. 業種別貸出状況等	56
10. 税効果会計	59

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

連結経常収益は、前期比64億円減少し1,759億円となりました。その主な要因は、株式等売却益の増加によりその他経常収益は31億円増加しましたが、有価証券利息配当金の減少を主因として資金運用収益が47億円減少し、国債等債券売却益の減少によりその他業務収益が42億円減少したことです。

連結経常費用は、前期比69億円減少し1,437億円となりました。その主な要因は、国債等債券売却損の増加によりその他業務費用が24億円増加し、貸倒引当金繰入が13億円増加しましたが、資金調達費用が26億円、営業経費が34億円、株式等償却の減少を主因としその他の経常費用が46億円それぞれ減少したことです。

以上の結果、連結経常利益は前期比5億円増加し322億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、連結経常利益が5億円増加したこと及び税金費用が減少したことから、前期比10億円増加の213億円となりました。

セグメントごとの業績は、北陸銀行では、経常収益は前期比21億円減少して864億円となり、セグメント利益は前期比30億円増加して142億円となりました。北海道銀行では、経常収益は前期比34億円減少して715億円となり、セグメント利益は前期比13億円減少して81億円となりました。その他では、経常収益は前期比6億円減少して251億円となり、セグメント利益は前期比若干減少して24億円となりました。

当社における当事業年度業績につきましては、子会社からの受取配当金が増加したことから、営業収益は77億円、経常利益は72億円、当期純利益は72億円と、それぞれ64億円の増加となりました。

貸出金の期末残高は、事業性貸出、個人ローン、公金貸出ともに増加し、前期末比3,939億円増加の9兆504億円となりました。

預金・譲渡性預金の期末残高は、個人預金、法人預金の増加により、前期末比11,502億円増加の12兆7,889億円となりました。

有価証券の期末残高は、国債の償還分の再投資や、地方債や投資信託の増加により、前期末比2,918億円増加の2兆1,072億円となりました。

なお、第1回第5種優先株式につき、10,742千株(5,371百万円)取得し、10,743千株(5,371百万円)消却いたしました。

キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、借入金(劣後特約付借入金を除く)の増加額及び預金の増加額の増加を主因に前期比2兆3,944億円増加して、2兆6,082億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出は減少しましたが、有価証券の売却及び償還による収入の減少を主因に前期比1,985億円減少して△2,313億円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いの減少を主因に前期比6億円増加して、△120億円となりました。

また、現金及び現金同等物の期首残高が前期比1,681億円増加しております。

以上の結果、現金及び現金同等物は前期末比2兆3,647億円増加し、5兆861億円となりました。

(2) 今後の見通し

2022年3月期の連結業績予想は、通期の経常利益は305億円、親会社株主に帰属する当期純利益は185億円としております。

新型コロナウイルス感染症による影響は、今後1～2年程度継続すると想定しておりますが、当該影響がさらに拡大・長期化した場合の予想は困難であり、異なる結果となる可能性があります。

当社では、「地域社会発展への貢献」、「未来への進化・変革」、「グループ総合力の発揮」を基本方針とする、3か年の中期経営計画「ALL for the Region」に2019年4月から取り組んでおります。各種サービスを進化させるとともに経営の合理化に取り組むことで、企業価値を高めていく計画としております。

厳しい収益環境の中ではありますが、貸出金の増強や有価証券運用の多様化、お客さまのニーズに応じた投資商品の販売等により収益を増加できるよう取り組んでまいります。

当社は、傘下の銀行等グループ企業の事業の公共性に鑑み、長期にわたる経営基盤の維持・拡充に努め、安定的な配当を行うことを基本方針としております。2020年度の期末配当につきましては、当事業年度の業績及び今後の見通しを勘案するとともに、新型コロナウイルス感染症による経済悪化に備えるべく内部留保の蓄積にも意を用い、普通株式は1株当たり前期比5円減少の35円、第1回第5種優先株式は所定の1株当たり7円50銭として定時株主総会に議案を提出する予定であります。

なお、2021年度の普通株式の配当予想につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益予想を185億円としたこと及び新型コロナウイルス感染症による影響がさらに拡大・長期化する可能性も踏まえ、期末配当1株当たり35円に据え置きとしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
現金預け金	2,725,025	5,096,491
コールローン及び買入手形	59,795	—
買入金銭債権	32,684	27,985
特定取引資産	3,790	3,407
金銭の信託	16,054	18,545
有価証券	1,815,484	2,107,290
貸出金	8,656,450	9,050,446
外国為替	19,014	22,385
その他資産	194,483	202,694
有形固定資産	96,905	95,784
建物	32,963	32,612
土地	56,927	56,597
リース資産	846	847
建設仮勘定	260	221
その他の有形固定資産	5,907	5,505
無形固定資産	17,320	13,568
ソフトウェア	7,038	5,404
のれん	9,285	7,182
リース資産	325	259
その他の無形固定資産	671	720
退職給付に係る資産	—	3,084
繰延税金資産	6,456	3,596
支払承諾見返	56,099	52,921
貸倒引当金	△54,703	△62,731
資産の部合計	13,644,861	16,635,471
負債の部		
預金	11,558,118	12,724,675
譲渡性預金	80,500	64,238
コールマネー及び売渡手形	68,264	280,517
売現先勘定	11,877	24,670
債券貸借取引受入担保金	294,641	307,787
特定取引負債	497	349
借入金	827,574	2,385,969
外国為替	113	447
信託勘定借	534	2,942
その他負債	119,799	120,203
退職給付に係る負債	12,199	3,566
役員退職慰労引当金	190	192
偶発損失引当金	1,025	755
睡眠預金払戻損失引当金	1,978	1,629
特別法上の引当金	5	7
繰延税金負債	10,919	20,966
再評価に係る繰延税金負債	5,201	5,123
支払承諾	56,099	52,921
負債の部合計	13,049,541	15,996,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
資本金	70,895	70,895
資本剰余金	139,269	133,905
利益剰余金	329,343	344,103
自己株式	△1,237	△1,180
株主資本合計	538,269	547,723
その他有価証券評価差額金	55,525	80,937
繰延ヘッジ損益	△1,076	△61
土地再評価差額金	8,211	8,088
退職給付に係る調整累計額	△9,049	△1,986
その他の包括利益累計額合計	53,611	86,979
新株予約権	497	538
非支配株主持分	2,941	3,263
純資産の部合計	595,319	638,504
負債及び純資産の部合計	13,644,861	16,635,471

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
経常収益	182,402	175,963
資金運用収益	109,237	104,502
貸出金利息	84,151	83,950
有価証券利息配当金	22,817	18,554
コールローン利息及び買入手形利息	876	102
買現先利息	△4	△1
預け金利息	878	1,432
その他の受入利息	518	463
信託報酬	6	42
役務取引等収益	38,820	37,817
特定取引収益	1,270	1,625
その他業務収益	24,303	20,049
その他経常収益	8,764	11,925
その他の経常収益	8,764	11,925
経常費用	150,717	143,738
資金調達費用	4,395	1,763
預金利息	1,034	618
譲渡性預金利息	12	4
コールマネー利息及び売渡手形利息	103	△76
売現先利息	37	27
債券貸借取引支払利息	1,162	216
借入金利息	237	113
その他の支払利息	1,807	858
役務取引等費用	15,416	15,356
その他業務費用	12,544	14,970
営業経費	94,962	91,511
その他経常費用	23,398	20,135
貸倒引当金繰入額	11,463	12,815
その他の経常費用	11,935	7,320
経常利益	31,685	32,224
特別利益	362	69
固定資産処分益	362	25
移転補償金	—	43
特別損失	1,454	1,116
固定資産処分損	536	428
減損損失	915	685
その他	2	2
税金等調整前当期純利益	30,593	31,177
法人税、住民税及び事業税	9,226	10,646
法人税等調整額	972	△1,066
法人税等合計	10,199	9,579
当期純利益	20,393	21,598
非支配株主に帰属する当期純利益	141	263
親会社株主に帰属する当期純利益	20,252	21,334

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	20,393	21,598
その他の包括利益	△40,440	33,549
その他有価証券評価差額金	△36,012	25,343
繰延ヘッジ損益	△165	1,014
退職給付に係る調整額	△4,183	7,063
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	127
包括利益	△20,046	55,148
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△20,180	54,825
非支配株主に係る包括利益	133	322

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	70,895	144,622	316,329	△1,281	530,565
当期変動額					
剰余金の配当			△7,381		△7,381
親会社株主に帰属する当期純利益			20,252		20,252
自己株式の取得				△5,380	△5,380
自己株式の処分		13		56	70
自己株式の消却		△5,367		5,367	—
土地再評価差額金の取崩			142		142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△5,353	13,013	43	7,704
当期末残高	70,895	139,269	329,343	△1,237	538,269

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	91,608	△910	8,354	△4,865	94,187	443	2,807	628,004
当期変動額								
剰余金の配当								△7,381
親会社株主に帰属する当期純利益								20,252
自己株式の取得								△5,380
自己株式の処分								70
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の取崩								142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△36,083	△165	△142	△4,183	△40,576	53	133	△40,389
当期変動額合計	△36,083	△165	△142	△4,183	△40,576	53	133	△32,684
当期末残高	55,525	△1,076	8,211	△9,049	53,611	497	2,941	595,319

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	70,895	139,269	329,343	△1,237	538,269
当期変動額					
剰余金の配当			△6,697		△6,697
親会社株主に帰属する当期純利益			21,334		21,334
自己株式の取得				△5,375	△5,375
自己株式の処分		7		61	68
自己株式の消却		△5,371		5,371	—
土地再評価差額金の取崩			122		122
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△5,363	14,760	57	9,453
当期末残高	70,895	133,905	344,103	△1,180	547,723

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	55,525	△1,076	8,211	△9,049	53,611	497	2,941	595,319
当期変動額								
剰余金の配当								△6,697
親会社株主に帰属する当期純利益								21,334
自己株式の取得								△5,375
自己株式の処分								68
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の取崩								122
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,412	1,014	△122	7,063	33,367	41	322	33,731
当期変動額合計	25,412	1,014	△122	7,063	33,367	41	322	43,184
当期末残高	80,937	△61	8,088	△1,986	86,979	538	3,263	638,504

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	30,593	31,177
減価償却費	7,159	6,743
減損損失	915	685
のれん償却額	2,102	2,102
持分法による投資損益 (△は益)	1	△12
貸倒引当金の増減 (△)	1,799	8,028
偶発損失引当金の増減額 (△は減少)	△64	△269
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	398	△3,084
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,205	△8,633
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	1
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	△265	△348
資金運用収益	△109,237	△104,502
資金調達費用	4,395	1,763
有価証券関係損益 (△)	△6,213	△7,089
金銭の信託の運用損益 (△は運用益)	68	7
為替差損益 (△は益)	2,053	△6,357
固定資産処分損益 (△は益)	174	402
特定取引資産の純増 (△) 減	281	382
特定取引負債の純増減 (△)	△47	△147
貸出金の純増 (△) 減	△312,312	△393,996
預金の純増減 (△)	261,483	1,166,557
譲渡性預金の純増減 (△)	△33,193	△16,261
借入金 (劣後特約付借入金を除く) の純増減 (△)	214,909	1,558,395
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	△488	△6,676
コールローン等の純増 (△) 減	24,761	64,493
コールマネー等の純増減 (△)	52,928	225,045
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	△58,009	13,146
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△3,307	△3,370
外国為替 (負債) の純増減 (△)	△681	333
信託勘定借の純増減 (△)	534	2,408
資金運用による収入	87,943	84,791
資金調達による支出	△4,468	△2,016
その他	54,043	2,498
小計	223,469	2,616,197
法人税等の支払額	△9,727	△7,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,741	2,608,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,036,495	△945,725
有価証券の売却による収入	621,687	449,479
有価証券の償還による収入	368,078	250,893
金銭の信託の増加による支出	△25,463	△20,013
金銭の信託の減少による収入	20,295	20,156
投資活動としての資金運用による収入	22,817	18,554
有形固定資産の取得による支出	△3,343	△3,549
有形固定資産の売却による収入	965	138
無形固定資産の取得による支出	△1,379	△1,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,838	△231,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△7,381	△6,697
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
自己株式の取得による支出	△5,380	△5,375
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,761	△12,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168,118	2,364,789
現金及び現金同等物の期首残高	2,553,235	2,721,353
現金及び現金同等物の期末残高	2,721,353	5,086,143

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会や経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、銀行持株会社である当社を中心に、銀行業を核とした総合的な金融サービスを提供しております。当社は、連結子会社単位を事業セグメントとして認識し、「北陸銀行」及び「北海道銀行」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。事業セグメントの利益は当期純利益であります。セグメント間の内部経常収益は、外部顧客に対する経常収益と同一の決定方法による取引価格に基づいた金額であります。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	北陸銀行	北海道銀行	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	87,353	74,206	161,560	21,118	182,678	△275	182,402
セグメント間の内部経常収益	1,175	775	1,951	4,767	6,718	△6,718	—
計	88,528	74,982	163,511	25,885	189,397	△6,994	182,402
セグメント利益	11,238	9,592	20,831	2,455	23,286	△3,034	20,252
セグメント資産	8,108,929	5,496,607	13,605,537	93,104	13,698,642	△53,780	13,644,861
セグメント負債	7,754,187	5,278,836	13,033,024	67,258	13,100,282	△50,740	13,049,541
その他の項目							
減価償却費	4,271	2,571	6,842	309	7,152	6	7,159
のれんの償却額	—	—	—	—	—	2,102	2,102
資金運用収益	58,942	50,819	109,761	329	110,091	△853	109,237
資金調達費用	3,643	685	4,329	432	4,761	△366	4,395
持分法投資利益(△は損失)	—	—	—	—	—	△1	△1
特別利益	360	2	362	—	362	—	362
固定資産処分益	360	2	362	—	362	—	362
特別損失	1,257	194	1,451	2	1,454	0	1,454
固定資産処分損	486	50	536	—	536	—	536
減損損失	771	144	915	—	915	0	915
税金費用	5,582	3,979	9,561	759	10,320	△121	10,199
持分法適用会社への投資額	—	29	29	92	122	116	239
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,085	1,849	4,935	150	5,085	3	5,088

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、証券業・リース業・クレジットカード業等を営む、銀行以外の連結子会社であります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

(1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△275百万円は、連結に伴う勘定科目の組替による調整額△21百万円、事業セグメントに配分していない経常収益及びパーチェス法による経常収益調整額△254百万円であります。

(2) セグメント利益の調整額△3,034百万円には、セグメント間取引消去△498百万円、のれん償却額△2,102百万円、パーチェス法による利益調整額△284百万円、持分法投資損失△1百万円、非支配株主に帰属する当期純利益△141百万円及び事業セグメントに配分していない費用△5百万円が含まれております。

(3) セグメント資産の調整額△53,780百万円、セグメント負債の調整額△50,740百万円、資金運用収益の調整額△853百万円及び資金調達費用の調整額△366百万円は、セグメントに配分していないものの額及びセグメント間相殺消去額であります。

(4) 減価償却費の調整額6百万円は、セグメントに配分していない減価償却費及び連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る減価償却費であります。

(5) のれんの償却額の調整額2,102百万円は、北海道銀行の経営統合時に発生した連結上ののれんの償却額であります。

(6) 持分法投資利益の調整額△1百万円は、持分法投資損失全額であります。

(7) 減損損失の調整額0百万円は、パーチェス法による調整額であります。

(8) 税金費用の調整額△121百万円は、セグメントに配分していない税金費用及び連結上の法人税等調整額であります。

- (9) 持分法適用会社への投資額の調整額116百万円は、セグメントに配分していない持分法適用会社への投資額及び持分法投資損益額であります。
- (10) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3百万円は、連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る投資額及びセグメントに配分していない有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	北陸銀行	北海道銀行	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	85,281	70,337	155,619	20,518	176,137	△174	175,963
セグメント間の内部経常収益	1,145	1,234	2,380	4,671	7,052	△7,052	—
計	86,427	71,572	157,999	25,190	183,189	△7,226	175,963
セグメント利益	14,297	8,192	22,490	2,408	24,898	△3,563	21,334
セグメント資産	9,857,292	6,737,566	16,594,859	95,160	16,690,020	△54,548	16,635,471
セグメント負債	9,473,122	6,514,085	15,987,208	66,948	16,054,156	△57,190	15,996,966
その他の項目							
減価償却費	3,957	2,515	6,473	268	6,741	1	6,743
のれんの償却額	—	—	—	—	—	2,102	2,102
資金運用収益	57,248	48,180	105,428	279	105,708	△1,206	104,502
資金調達費用	1,475	251	1,726	358	2,085	△321	1,763
持分法投資利益（△は損失）	—	—	—	—	—	12	12
特別利益	25	43	69	—	69	—	69
固定資産処分益	25	0	25	—	25	—	25
特別損失	884	202	1,086	3	1,090	26	1,116
固定資産処分損	314	113	428	—	428	—	428
減損損失	569	88	658	0	659	26	685
税金費用	5,359	3,212	8,572	1,130	9,702	△123	9,579
持分法適用会社への投資額	—	29	29	92	122	257	379
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,817	2,170	4,988	60	5,048	6	5,055

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、証券業・リース業・クレジットカード業等を営む、銀行以外の連結子会社であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△174百万円は、連結に伴う勘定科目の組替による調整額△23百万円、事業セグメントに配分していない経常収益及びパーチェス法による経常収益調整額△150百万円であります。
- (2) セグメント利益の調整額△3,563百万円には、セグメント間取引消去△899百万円、のれん償却額△2,102百万円、パーチェス法による利益調整額△310百万円、持分法投資利益12百万円、非支配株主に帰属する当期純利益△263百万円及び事業セグメントに配分していない費用△0百万円が含まれております。
- (3) セグメント資産の調整額△54,548百万円、セグメント負債の調整額△57,190百万円、資金運用収益の調整額△1,206百万円及び資金調達費用の調整額△321百万円は、セグメントに配分していないものの額及びセグメント間相殺消去額であります。
- (4) 減価償却費の調整額1百万円は、セグメントに配分していない減価償却費及び連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る減価償却費であります。
- (5) のれんの償却額の調整額2,102百万円は、北海道銀行の経営統合時に発生した連結上ののれんの償却額であります。
- (6) 持分法投資利益の調整額12百万円は、持分法投資利益全額であります。
- (7) 減損損失の調整額26百万円は、パーチェス法による調整額であります。
- (8) 税金費用の調整額△123百万円は、セグメントに配分していない税金費用及び連結上の法人税等調整額であります。
- (9) 持分法適用会社への投資額の調整額257百万円は、セグメントに配分していない持分法適用会社への投資額及び持分法投資損益額であります。
- (10) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6百万円は、連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る投資額及びセグメントに配分していない有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,138円44銭	4,504円91銭
1株当たり当期純利益	142円74銭	152円17銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	142円37銭	151円68銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円 20,252	21,334
普通株主に帰属しない金額	百万円 1,530	1,369
うち定時株主総会決議による優先配当額	百万円 725	644
うち中間優先配当額	百万円 805	725
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円 18,721	19,964
普通株式の期中平均株式数	千株 131,153	131,200
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円 —	—
普通株式増加数	千株 338	419
うち新株予約権	千株 338	419
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額	百万円 595,319	638,504
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円 52,507	47,419
うち新株予約権	百万円 497	538
うち非支配株主持分	百万円 2,941	3,263
うち優先株式発行金額	百万円 48,343	42,971
うち優先配当額	百万円 725	644
普通株式に係る期末の純資産額	百万円 542,812	591,085
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数	千株 131,163	131,209

(重要な後発事象)

該当事項はありません。